

グループ企業におけるセキュリティアーキテクチャ実装状況に関する可視化手法の提案

Proposal of visualization on security architecture implementation in Group Company 佐藤 雄二・マネジメント分科会・情報セキュリティ大学院大学

The company adapts to a rapid change of the business environment, and it is necessary to do continuous growth. As the need of the information sharing in group companies increases, it is important how to build a security defense with the consistency as a whole. In this paper, "1st step to build a security defense that is consistent as a whole group company", we propose a method for visualizing the implementation status of security architecture to promote common understanding about the current security situation for stakeholders in the group companies. And we evaluated the effectiveness of the approach

研究背景



2010年~2014年におけるインシデント報告件数の推移 [JPCERT/CC, 2015]

- 攻撃目的、手法の多様化
- セキュリティ人材不足
- 経営者の理解不足



外部委託会社や契約社員による
大規模な情報流出
→ グループ企業全体としてのリスク

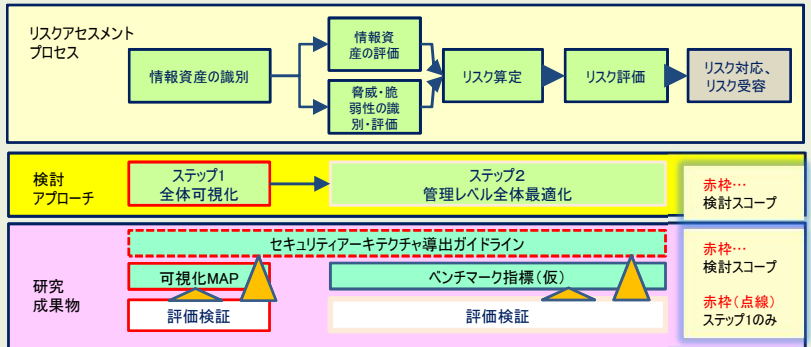
グループ企業における最適なセキュリティ対策の導出に関する検討必要？

研究スコープ



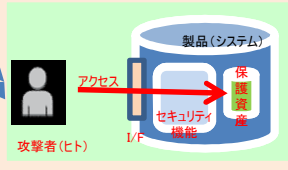
最適なセキュリティ対策の導出に関する先行研究(特に学術分野)のカバー範囲(赤枠)を目指す前に情報資産の識別部分(緑)に関するアプローチ(深堀)をまず検討

組織を取り巻くリスクを明らかにする「リスクアセスメント」の進め方～リスク算定までのプロセスとリスク分析の手法 引用: <http://enterprisezine.jp/iti/detail/5169>

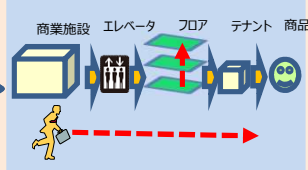


研究成果物(可視化MAP)

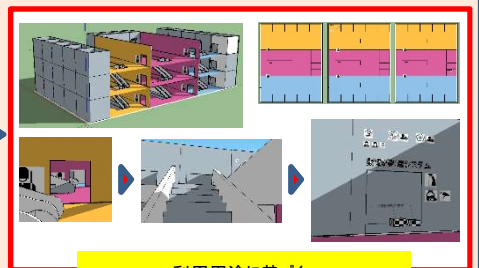
- 可視化要件
- デザインコンセプト
- デザインテンプレート



セキュリティアーキテクチャ内の主要構成要素を抽出



既存知識との親和性の高いものに置き換える



利用用途に基づく、平面、立体(アニメーション表現)

研究成果物(セキュリティアーキテクチャ導出ガイドライン(ステップ1))

Steps	情報収集Phase	構築(〜ドRAFT作成)Phase	評価Phase
Doing	情報収集(外部委託会社や契約社員による) 情報収集(内部関係者による)	要件定義(外部委託会社や契約社員による) MAP作成(内部関係者による)	評価(外部委託会社や契約社員による) 評価(内部関係者による)
Thinking & Feeling	誰に? 何を? どのように? (外部委託会社や契約社員による)	誰に? 何を? どのように? (内部関係者による)	誰に? 何を? どのように? (内部関係者による)



ガイドライン本編(ステップ1)

ケーススタディ(利活用促進目的)

成果物評価検証結果(計3回)



一定の有用性あり。今後の課題は操作のしやすさ、着容易性